

協力隊から、共に汗を流した地域の皆さんへ



あつという間の3年間でした。本当にありがとうございました！



色々なことに携わらせてくれた地域の皆さまには本当に感謝です。東温市の皆さま、そして河之内の皆さま、これからは一地域住民としてよろしくお願ひします。

河之内地区担当 吉本 佑矢



ほっこり奥松やぼんぼこ農園といった交流を目的とした施設の運営に携わりましたが、奥松瀬川

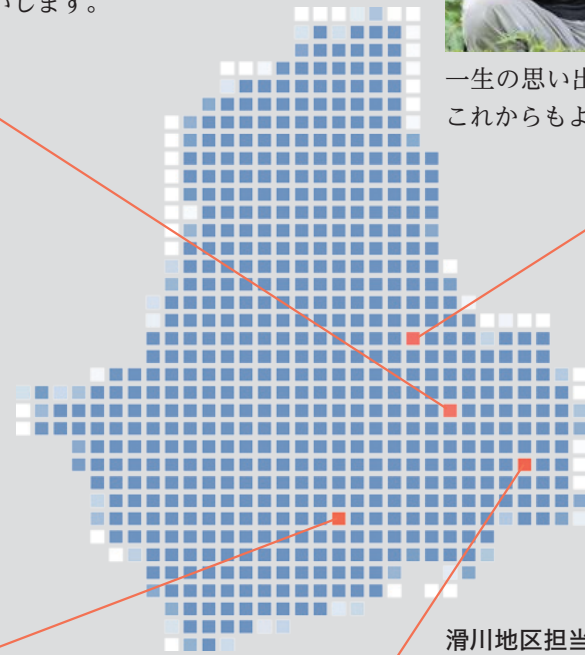


地区は住民の団結力が強いです。変化し続ける奥松瀬川地区へ遊びに来てください。

◆地元の方へ

私たち夫婦のためにプロデュースから飾り付けまで全てを手作りしてもらった結婚式は一生の思い出になりました。ただただ感謝です。これからもよろしくお願ひします。

奥松瀬川地区担当 森田 将史



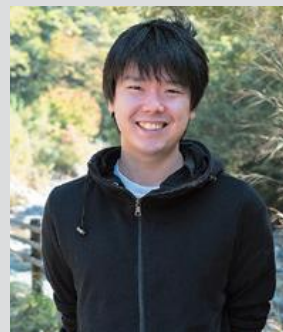
井内地区担当 篠森 沙耶香



東温市に来て2年半、関わってくださる皆様の笑顔と美しい山に見守られて過ごしてきました。井内地区での活動はたくさんの初めてを体験させていただき、自分が一番の井内ファンになれたと確信しています。これからも東温市で生きていきます。



滑川地区担当 松井 駿作



あつという間の3年間でした。初めて滑川地区に来たとき、何をしていたか分からず、全てが手探りで、自分がやろうとしていることが正しいのか葛藤の日々でした。それでも地域の方々に支えられて、何とか任期を全うすることができました。本当にありがとうございました。



地域と共に 3年間に感謝

地域おこし協力隊活動報告 4名が定着・定住

2016年(平成28年)度から、地域団体と連携した中山間地域の活性化や情報発信支援を行う地域おこし協力隊員の活動報告会が12月25日に市役所で行われ、地域とともに歩んだ3年間の活動を総括しました。夜7時から開催にもかかわらず市民ら約50人が参加した報告会は、隊員たちの3年間の凝縮され、地域との深い結びつきが感じられました。

井内地区担当の篠森(旧姓..古谷)沙耶香さんは、約80戸ある地区住民宅へのあいさつ回りから始めた3年間で、「これからの地域を創るのは女性の力が重要と感じました」と振り返りました。退任後も、3年間で培われた人脈や知識を活かし、地域密着型ガイドや収穫体験の実施、井内地区の女性を中心とした地域産品販売所の運営支援を行います。

中山間地域を担当した4名の隊員は、3月での任期満了も引き続き東温市に定住する予定で、個人のもつ技術や経験を活かして、地域資源を使った交流人口の拡大や移住希望者の受け入れなど、地域に根ざした活動を続けていくそうです。

奥松瀬川地区担当の森田将史さんは、着任当初から課題解決には奥松瀬川地区内での資源循環がポイントと定め、地域内での情報伝達手段として地域新聞の発行や、交流拠点を中心とする地域コミュニティの強化に努めました。「地域のいきいきと活動する姿が、結果として参画者の増加や地域外からの来訪に繋がった。地区の人財が活躍できるよう後方支援できたと思う」と、地域が主役であることを崩さず、感謝を伝えていました。

地域おこし協力隊って？ 人口減少や高齢化が進む地域で地域外からの人材が地域協力活動を行い、その定住・定着を目指す総務省の制度です。意欲ある地域住民と連携しながら地域力の維持・強化を図ります。東温市では2016年度から制度を活用して、現在10名の協力隊員が着任しており、中山間地域活性化支援やアートヴィレッジ構想に関する活動を行っています。

